

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公表番号】特表2007-516682(P2007-516682A)

【公表日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2007-023

【出願番号】特願2006-547106(P2006-547106)

【国際特許分類】

H 0 1 Q 9/26 (2006.01)

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

G 0 6 K 19/077 (2006.01)

H 0 1 Q 1/38 (2006.01)

H 0 4 B 5/02 (2006.01)

H 0 4 B 1/59 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 Q 9/26

G 0 6 K 19/00 H

G 0 6 K 19/00 K

H 0 1 Q 1/38

H 0 4 B 5/02

H 0 4 B 1/59

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月11日(2007.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 誘電体基板と、

b) 前記誘電体基板に取り付けられたアンテナであって、

i) 第 1 のアンテナ素子であって、該第 1 のアンテナ素子が第 1 の導体及び第 2 の導体を含み、各前記導体は第 1 の端部及び該第 1 の端部と反対側の第 2 の端部を有する、第 1 のアンテナ素子と、

ii) 第 2 のアンテナ素子であって、該第 2 のアンテナ素子は、閉じたループの形状の第 1 の部分及び第 2 の部分を含み、前記第 1 の部分は前記第 1 の導体の前記第 2 の端部に取り付けられ、前記第 2 の部分は前記第 2 の導体の前記第 2 の端部に取り付けられる、第 2 のアンテナ素子と、

を含むアンテナと、

c) 前記第 1 の導体の前記第 1 の端部及び前記第 2 の導体の前記第 1 の端部に電氣的に接続された集積回路と、
を含む、無線周波識別タグ。

【請求項 2】

前記集積回路は第 1 のインピーダンス値を有し、前記アンテナは第 2 のインピーダンス値を有し、前記第 2 のインピーダンス値の実数成分の大きさは前記第 1 のインピーダンス値の実数成分の大きさと実質的に同様であり、前記第 2 のインピーダンス値の虚数成分の大きさは前記第 1 のインピーダンス値の虚数成分の大きさと実質的に同様であり、前記第

1 のインピーダンス値の虚数成分の位相と前記第 2 のインピーダンス値の虚数成分の位相とは逆である、請求項 1 に記載の無線周波識別タグ。

【請求項 3】

前記第 1 のアンテナ素子のインピーダンスは第 1 の実数成分値及び第 1 の虚数成分値を有し、前記第 2 のアンテナ素子のインピーダンスは第 2 の実数成分値及び第 2 の虚数成分値を有し、前記第 2 のアンテナ素子のインピーダンスは、前記第 1 の実数成分値及び前記第 1 の虚数成分値を平衡させるのを支援する第 2 の実数成分値及び第 2 の虚数成分値を備え、前記集積回路の前記第 1 のインピーダンス値と実質的に同様な前記アンテナの前記第 2 のインピーダンス値を備えるように選定される、請求項 2 に記載の無線周波識別タグ。